

大鰐町合葬墓整備工事設計・施工一括発注方式(総合評価型)要求水準書

1 要求水準書の意義

本要求水準書は大鰐町合葬墓整備工事設計・施工一括発注方式(総合評価型)の参加者に求める企画提案の前提条件となる要求水準を示すものである。

本方式の参加者は、この要求水準書に明記されている事項を満たした企画提案を行うこと。また、審査の結果、「大鰐町合葬墓整備工事」を請け負った者(以下「請負者」という。)は、工事期間にわたり要求水準を遵守しなければならない。

2 工事名

大鰐町合葬墓整備工事

3 工事場所

大鰐町大字大鰐地内(大鰐霊園内)

※設置場所は別添資料「位置図1」「位置図2」に記載

4 工事内容

合葬墓整備一式(実施設計、制作、据付、基礎等)

5 工期

契約締結の翌日から令和8年3月27日まで

6 要求水準

【共通要求水準】

合葬墓整備の目的と本水準書の内容に沿った提案とすること。

大鰐霊園内に800体程度の焼骨を埋蔵できる地上カロート(直接合葬方式)、75体程度の焼骨を個別で埋蔵できる個人カロート(個別方式)、供養墓本体で構成する合葬墓の整備を行う。

※合葬墓について

○合葬墓は、横7.2m×奥行4.4mの範囲内に整備する。

※別添資料「位置図2」に記載

○合葬墓の基本構成は、供養墓本体、地上カロート、個人カロートとし、町民が利用しやすい配置とする。

○合葬墓の参拝者が、その他の区画使用者の通行や墓参り等の妨げにならないこと。

また、合葬墓正面の景観等に配慮した設計とすること。

(合葬墓地上、個人カロート)

○カロートは埋蔵用投入口を2箇所以上設けるものとする。

○埋蔵用投入口の蓋は、1点以上が固定されており容易に開閉できる構造とする。また、雨水等の浸入を防ぐ構造であること。

○カロート内への雨水の浸入を防ぐとともに、カロート内に発生する結露等の排水対策を行う。

(供養墓本体)

○供養墓本体は、地上カロート上に建立する。

- 供養墓本体の材質は、長期間の風雨等にも十分耐えられる耐久性の高いものを使用する。
- 供養墓本体は、地上から高さ3m以下とし、維持管理が容易なもの、宗教色が無いものとする。
- 供養墓本体には、参拝スペース（遺族等が参拝できる場所をいう。）を設け、香炉と花立を設置し、地震による倒壊防止の措置を講ずること。
- 供養墓本体は、周辺の風景と調和のとれたデザイン・配色とすること。
（合葬墓の耐震性及び耐久性の対策）
- 地上カロートは鉄筋コンクリート造とする。
- 地上カロートは、供養墓本体の加重等に対応する耐性を備えた構造とする。
- 個人カロートは利用開始10年後に遺骨を取り出し、地上カロートに収蔵する。
- 個人カロートの埋蔵用投入口の蓋に、埋蔵されている人がわかるよう名札を付けられるようにすること。
- 名札は取り外しが可能な構造とし耐久性、耐候性が高い材質であること。
- 合葬墓付近は、冬期間積雪が見込まれ、除雪された雪が積みあげられることも考慮に入れ、容易に蓋から分離しない措置を講ずること。
（その他）
- 本要求水準書に記載のない事項については、町と請負者の協議により対応を決定する。

7 施工条件

ア. 共通事項

- ・工事受注後は、速やかに着手すること。
- ・着手時、施工時、竣工時の検査（出来高確認）の状況写真を提出すること。

イ. 搬入路確保、施工手順、資材保護等を連携調整しながら確実に行うこと。

ウ. 安全管理

- ・開園している霊園内の工事であり、利用者の安全を第一とすること。
- ・工事車両通行の際は、十分な安全対策を講ずること。
- ・町営墓地施設等を破損した場合は、請負者により補修等を行うこと。

8 町からの提供資料

位置図1、位置図2

※その他必要となる書類等がある場合には、担当部署へ申し出ること。

9 留意事項

以下の条件を備え、工事後も安定した支援体制を確認すること。

ア. 保守管理体制

- ・定期的な保守点検を行う体制を示すこと。
- ・本工事にて整備したものについての瑕疵担保期間及び保証期間は引渡しから1年間(12ヶ月)とすること。

イ. 運用面のサポート

- ・合葬墓運用の操作、保守・管理、納骨時及び非常時の対応等サポート体制を示すこと。
- ・サポート体制(納骨等)を実施する際の金額等を示すこと。